

2021年11月10日

各 位

会 社 名	株式会社エーアイ
代表者名	代表取締役社長 吉田 大介 (コード:4388 東証マザーズ)
問合せ先	執行役員 総務グループ統括 小川 遼 (TEL. 03-6801-8402)

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

記

- 開催状況
 - 開催日時 2021年11月10日(水) 15:30~16:30
 - 開催方法 WEBによる開催
 - 開催場所 株式会社エーアイ 本社 会議室
(東京都文京区西片一丁目15番15号)
 - 説明会資料名 2022年3月期 第2四半期 決算補足説明資料

【添付資料】

投資説明会において使用した資料

以 上

2022年3月期 第2四半期 決算補足説明資料

2021年11月10日

株式会社エーアイ

証券コード：4388

声を便利に、声を楽しく。



1. 企業概要
2. 2022年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2022年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて

会社概要

会社名	株式会社エーアイ（英文社名：AI, Inc.）
代表者	代表取締役社長 吉田 大介
設立	2003年4月1日
本社	東京都文京区西片一丁目15番15号 KDX春日ビル10階
資本金	151,481,320円（資本準備金 121,280,000円）
市場	東京証券取引所マザーズ（証券コード：4388）
主要株主	廣飯 伸一、吉田 大介、合同会社 吉田事務所
決算期	3月
従業員数	正社員：49名 パート及び嘱託社員：16名
事業内容	音声合成エンジン及び関連するソリューションの提供

（2021年9月末日現在）

企業理念・行動指針

企業理念

エーアイは音声技術で社会に新しい価値をつくり続けます

MISSION

声がつくれる“便利さ”と声をつくる“楽しさ”を

VISION

音声技術で社会の役に立つサービスをつくり続ける

VALUE

音声技術のトップランナーで居続ける

- 人が幸せになる技術・サービスを提供する
- お客さまと社員と共に未来をつくっていく
- 日々、一步一步丁寧に歩いていく

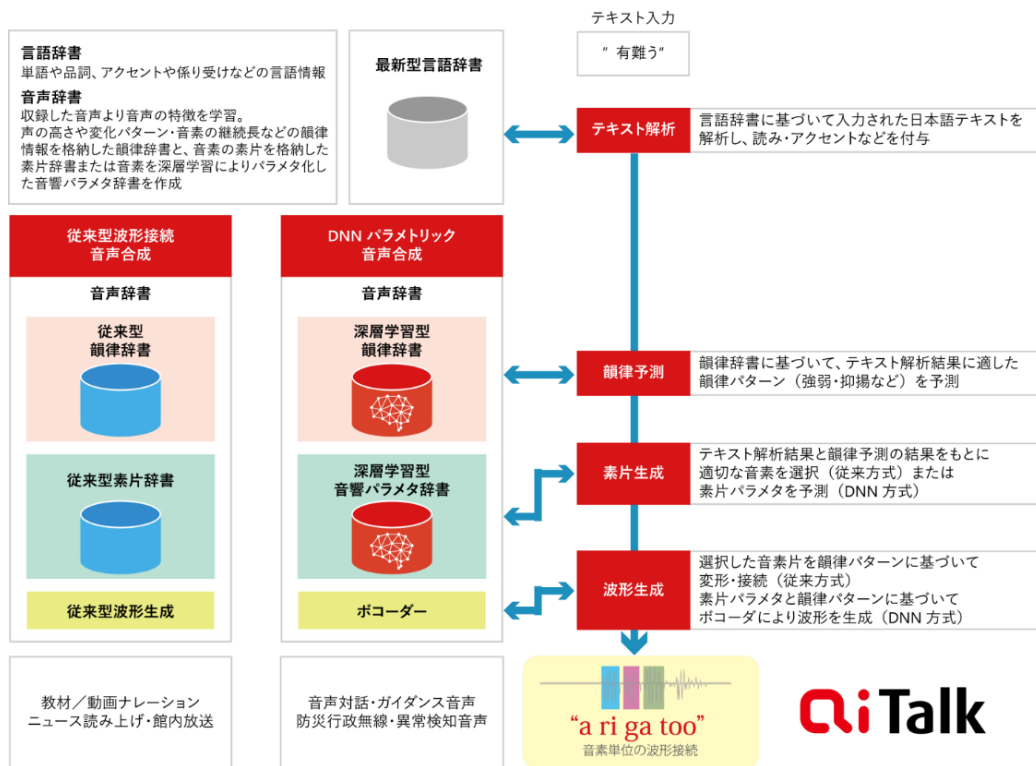
行動指針

- 新しい技術、新しいスキルを、常に身につけていく人に。
- お客さまも社員も自分も。仲間と一緒に自分を育てていく思いやりのある人に。
- 着実に行動して成長していく向上心のある人に。

AITalk®とは

機械的な合成音ではなく、人間の肉声に近い自然な音声を実現した高品質音声合成エンジンです。

音声合成エンジン「AITalk®5」は、従来の「コーパスベース音声合成方式」と、最新の深層学習技術を活用した「DNN音声合成方式」を、利用シーンに合わせて選択することで、さらなる人間らしさ・豊かな音声を追求めた高品質音声合成エンジンです。



選ばれる理由

①人間的でなめらか・人に近い自然な音声

AITalk®は、従来の機械的な合成音ではなく、人間の声に近い自然な音声合成です。

②総勢100名以上の話者・言語の種類は40種類以上の豊富な音声ラインナップ

音声の差替えや追加の度に発生していた収録の手間やコストの事を気にせず、必要な時に必要なだけ音声の差替えや追加ができます。

③誰の声でも短時間の収録で音声合成用データに変換

芸能人や声優、自分の声を収録し、音声合成用のオリジナル辞書を作成することができます。文字を入力するだけで、本人の声のようリアルな音声で喋らせることができ、WEBキャンペーンやスマートフォンアプリ、ゲーム等の様々なコンテンツでの展開が可能です。

ビジネスモデル

区分		販売形態		製品・サービス
法人向け	法人向け製品 (前年度実績：売上の60.6%)	パッケージ販売	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> ・AITalk® 声の職人® ・AITalk® 声プラス® ・AITalk International®
		ライセンス提供	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> ・AITalk® SDK ・AITalk® Server ・micro AITalk®
		受託開発	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> ・AITalk® Custom Voice®
	法人向けサービス (前年度実績：売上の25.4%)	クラウドサービス	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> ・AITalk® WebAPI ・AITalk® Web読み職人® ・AITalk® 声の職人® クラウド版 ・AITalk® 声ですと™
		サポートサービス	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> ・技術サポート
コンシューマー向け製品 (前年度実績：売上の14.0%)		パッケージ販売	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> ・かんたん！AITalk® ・かんたん！アフレコ™ ・AITalk® あなたの声® ・VOICEROID®シリーズ ・A.I.VOICE™ 琴葉 茜®・葵®／伊織 弓鶴®

利用されている用途



音声対話



防災行政無線



道路交通情報



ナビゲーション・PND



スマホアプリ



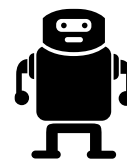
観光案内



施設案内



車内各種放送



ロボット



電話自動応答



WEBキャンペーン



WEBサービス



ゲーム



e-Learning教材



マニュアル



機器組込み



パッケージソフト組込み



ソフトOEM提供



自社サービス展開

導入・販売実績

導入実績数



1700 社

防災行政無線での
導入自治体数



756
市区町村

オリジナル音声辞書
作成実績数



370 名

法人向け
パッケージソフト
累積販売数



1500
ライセンス

コンシューマー向け
パッケージソフト
累積販売数



6万
ライセンス以上

1. 企業概要
2. 2022年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2022年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて

エグゼクティブサマリー

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染の再拡大により緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が断続的に適用される等、先行きは依然として極めて不透明な状況にありました。

当社を取り巻く環境においては、防災案件の縮小、コンシューマー製品「A.I.VOICE™」シリーズにおける新製品販売計画の一部を後ろ倒した影響により売上高は減少となりましたが、企業のテレワーク、学校のオンライン授業におけるeラーニング・動画等のナレーション作成用途での法人向けパッケージ製品「AITalk® 声の職人®」「AITalk® 声プラス®」、コンシューマー向け製品の需要は引き続き拡大しております。

この結果、

○上半期売上高329百万円、経常利益40百万円で、当初（5月13日発表）計画比ともに減収減益。

※法人向け製品、コンシューマー製品が軟調に推移し、売上高は計画比89.0%。

※売上高の減少に連動し、経常利益は計画比69.7%。

○需要が拡大している分野への拡販に向けて、法人向けサービス「AITalk® 声ですと™」の販売を開始。

営業・研究開発体制の強化を進めるとともに、個人向けオリジナルブランド「A.I.VOICE™」の展開、名古屋大学戸田研究室及び名古屋工業大学徳田・南角・橋本研究室との共同研究を進行中。

○人材の採用は順調に推移。

※4月～9月、新卒で5名、中途で2名入社。

※2022年4月新卒で5名内定。

2022年3月期 第2四半期 決算概要【前年同期比】

○前第1四半期累計期間で発生したコンシューマー向け製品における巣ごもり特需や、法人向け製品における大型ロイヤリティ案件の反動と、防災案件の縮小、コンシューマー製品「A.I.VOICE™」シリーズにおける新製品販売計画の一部を後ろ倒した影響により売上高は減少。

○売上高の減少に連動し、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに減少。

(百万円)

	2021年3月期 第2四半期（実績）		2022年3月期 第2四半期（実績）	
	実績	構成比	実績	構成比
売上高	360	100.0%	329	100.0%
売上原価	49	13.6%	56	17.0%
売上総利益	311	86.4%	272	82.7%
販売管理費	205	57.1%	229	69.6%
営業利益	105	29.3%	43	13.1%
経常利益	105	29.3%	40	12.2%
当期純利益	77	21.6%	30	9.1%

※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同期比増減率は記載していません

2022年3月期 第2四半期 決算概要【当社計画比】

○前第1四半期累計期間で発生したコンシューマー向け製品における巣ごもり特需や、法人向け製品における大型ロイヤリティ案件の反動と、防災案件の縮小、コンシューマー製品「A.I.VOICE™」シリーズにおける新製品販売計画の一部を後ろ倒した影響により売上高は当初計画比88.9%。

○売上高の減少に連動し、営業利益、経常利益、四半期純利益も計画比減となった。

	2022年3月期 第2四半期（当初計画）		2022年3月期 第2四半期（実績）		計画比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	達成率
売上高	370	100.0%	329	100.0%	△41	88.9%
売上原価	69	18.7%	56	17.0%	△13	81.2%
売上総利益	300	81.1%	272	82.7%	△28	90.7%
販売管理費	252	68.1%	229	69.6%	△23	90.9%
営業利益	60	16.2%	43	13.1%	△17	71.7%
経常利益	58	15.7%	40	12.2%	△18	69.0%
当期純利益	43	11.6%	30	9.1%	△13	69.8%

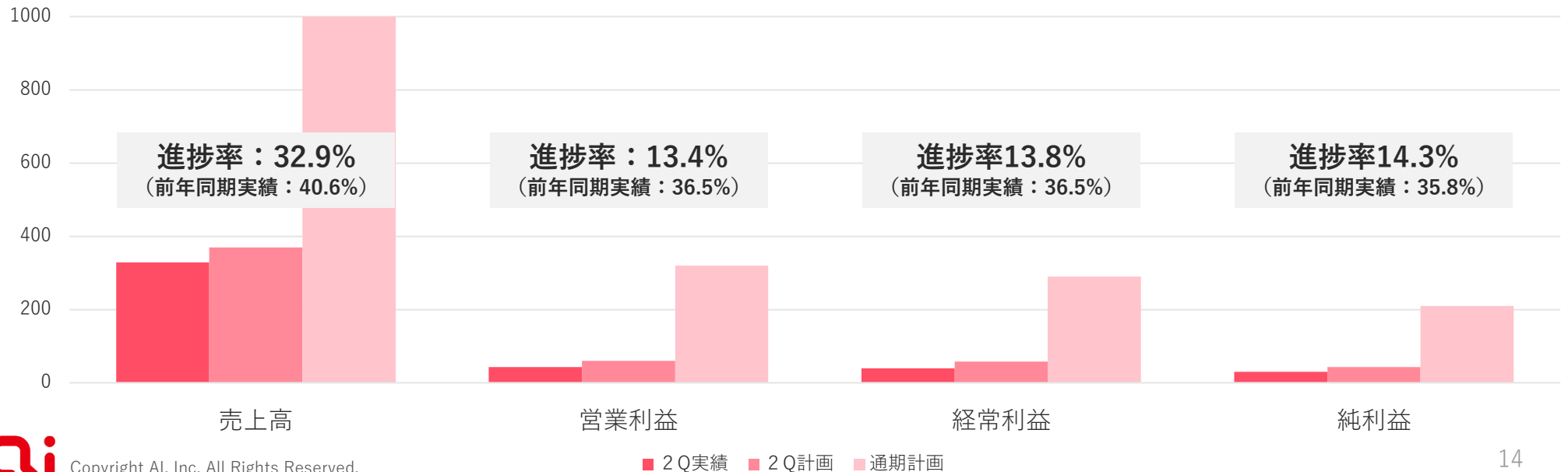
2022年3月期 第2四半期 決算概要【進捗状況】

○売上高については、計画を4.1ポイント下回り、進捗率32.9%。

○売上原価、販売管理費が計画値より少なく推移したものの、売上高の減少により営業利益、経常利益、四半期純利益についても計画値を下回り推移。

○現時点においては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに通期業績予想に近い数値になると予想しており、2022年3月期の通期の業績予想については、2021年5月13日公表の「2021年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」から変更はありません。

(百万円)



2022年3月期 第2四半期 分類別売上【前年同期比】

【法人向け製品】

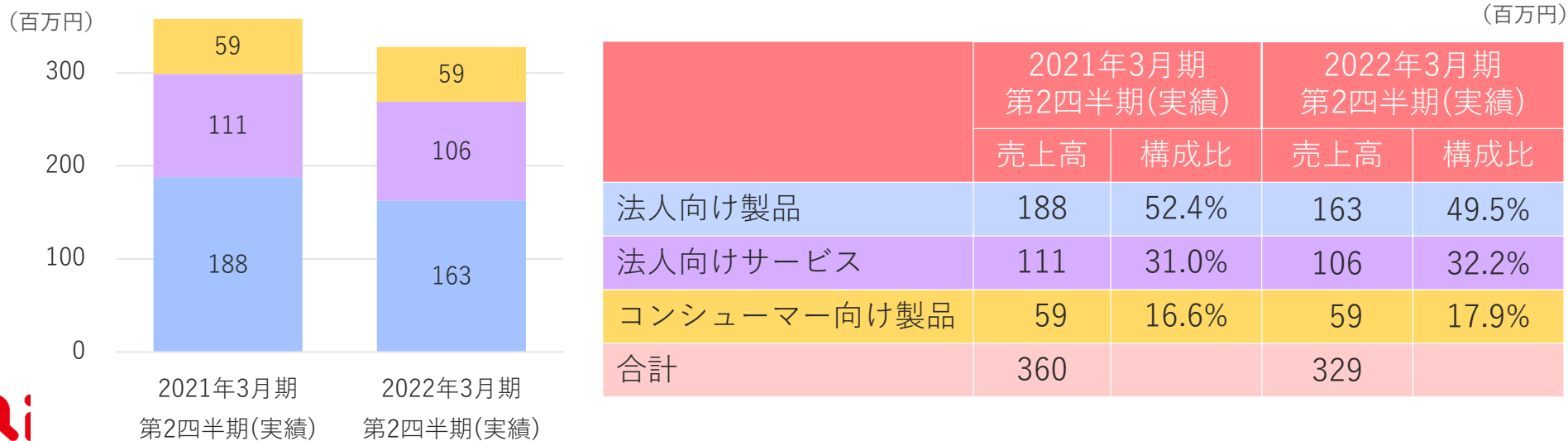
- ・前第1四半期累計期間で発生した大型ロイヤリティ案件の反動、防災案件の縮小により売り上げは減少。
- ・企業のテレワーク対応、学校のオンライン授業対応等により、eラーニング教材、動画等でのナレーション作成用途としてパッケージ製品の需要は引き続き拡大傾向。

【法人向けサービス】

- ・当社計画値通りに推移。

【コンシューマー向け製品】

- ・「A.I.VOICE™」シリーズにおける新製品販売計画の一部を後ろ倒したものの引き続き需要は拡大傾向。



2022年3月期 第2四半期 貸借対照表の概要

【資産合計】

現金及び預金が9百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が81百万円減少、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産が4百万円減少したことにより前事業年度末比65百万円減少。

【負債合計】

未払法人税等が26百万円、買掛金が2百万円、未払金が21百万円減少したことにより、前事業年度末比59百万円減少。

【純資産合計】

利益剰余金が5百万円減少したことにより、前事業年度末比5百万円減少。

(百万円)

	2021年3月期	2022年3月期 第2四半期	前期比 増減額
流動資産	1,300	1,241	△58
固定資産	51	45	△6
有形固定資産	19	18	△1
無形固定資産	7	8	+1
投資その他の資産	24	17	△6
資産合計	1,352	1,286	△65

(百万円)

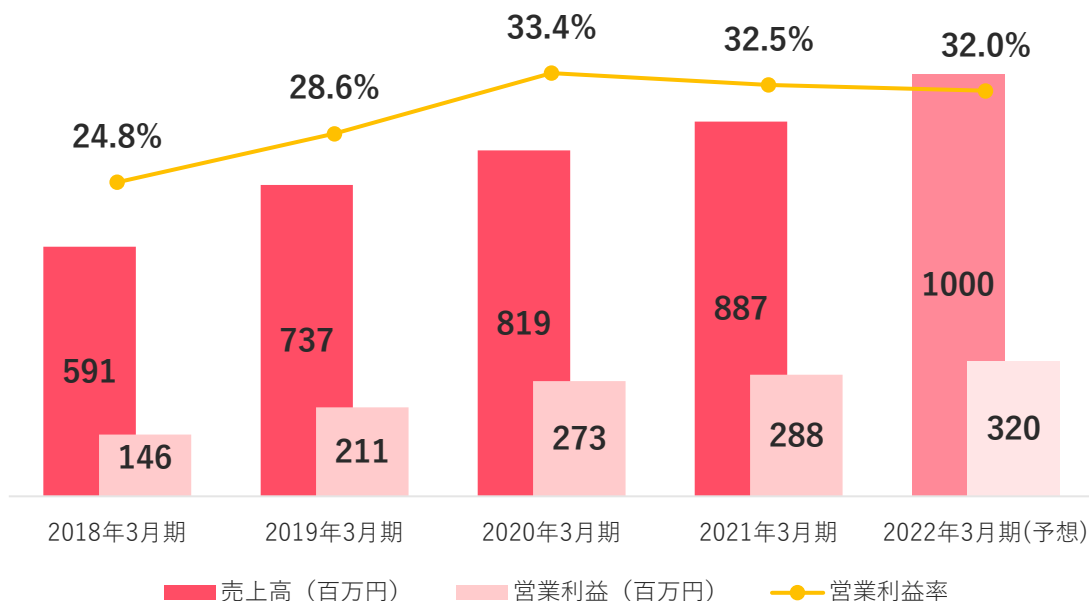
	2021年3月期	2022年3月期 第2四半期	前期比 増減額
流動負債	116	56	△59
固定負債	3	3	±0
負債合計	119	60	△59
純資産	1,232	1,226	△5
負債・純資産合計	1,352	1,286	△65
自己資本比率	91.1%	95.3%	+4.2pt

1. 企業概要
2. 2022年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2022年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて

2022年3月期 通期 業績予想

現時点においては、売上高が通期業績予想に近い数値になることが見込まれるため、営業利益、経常利益、当期純利益についても、通期業績予想に近い数値になると予想しております。

よって、2022年3月期の通期の業績予想については、2021年5月13日公表の「2021年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」から変更はありません。



(百万円)

	2021年3月期	2022年3月期
売上高	887	1,000
営業利益	288	320
経常利益	288	290
当期純利益	215	210

※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同期比増減率は記載していません

2022年3月期 通期 業績予想

【法人向け製品】 「AITalk®声の職人®」、「AITalk®声プラス®」の販売が堅調に推移し下期においても販売拡大を見込む。防災関連については下期偏重となると予想。一方、受託案件については期初の見通しを下回って推移しており、今後の事業環境の推移や業績の進捗を注視し、通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

【法人向けサービス】 下期も堅調に推移し、通期業績予想に近い数値になると予想。

【コンシューマー向け製品】 「A.I.VOICE™」関連の複数の新規タイトルの発売を下期に控えており、通期業績予想に近い数値になると予想。

(百万円)

	2021年3月期		2022年3月期	
	売上高	構成比	売上高	構成比
法人向け製品	538	60.6%	600	60.0%
法人向けサービス	225	25.4%	200	20.0%
コンシューマー向け製品	123	14.0%	200	20.0%
合計	887		1,000	

※2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同期比増減率は記載しておりません

下半期トピックス (個人向けオリジナルブランド「A.I.VOICE™」の展開)

2021年10月リリース

- ・「A.I.VOICE 結月ゆかり」



2021年12月リリース

- ・「A.I.VOICE Kotonoha Akane & Aoi English」
- ・「A.I.VOICE 継星あかり」



2022年初旬リリース

- ・「A.I.VOICE 羽ノ華」
- ・「A.I.VOICE Junior タンゲコトエ」
- ・「A.I.VOICE Junior 式狼縁・式大元」



式狼縁・式大元
© 株式会社MUGEN



タンゲコトエ

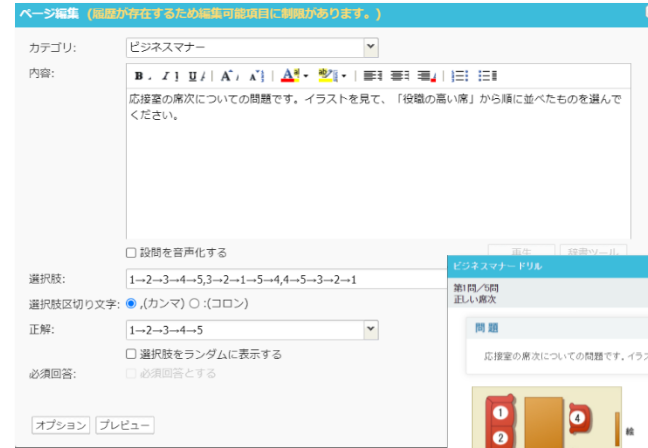
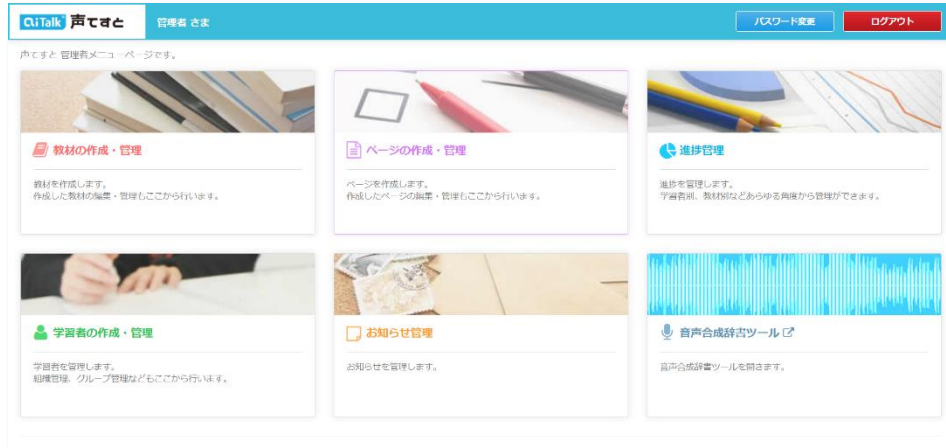


下半期トピックス (法人向けサービス「AITalk® 声ですと™」の展開)

2021年10月リリース：音声テスト作成ツール「AITalk 声ですと」

AITalk 声ですと™

インターネット上で音声付きのテスト問題やアンケートを作成し、実施、評価までを簡単な操作でおこなうツール。小テストや、資格試験問題、アンケートなどの作成・管理作業をクラウド上で効率的に作成することができ、既にお使いのLMSや、eラーニング教材と併用することも可能。



配当方針

当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。

2022年3月期（第19期）の剰余金の配当につきましては、通期業績予想を勘案し、前期から据え置きの8.5円とする予定であります。

	年間配当					配当 性向
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	合計	
2021年3月期（実績）	-	0円	-	8.50円	8.50円	19.9%
2022年3月期（予想）	-	0円	-	8.50円	8.50円	20.4%

1. 企業概要
2. 2022年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2022年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて

E S G への取り組み

(S: 社会)

① 女性活躍の推進

- ・ 社員49名中、女性が26名 (53.0%)
- ・ 管理職12名中、女性が5名 (41.6%)

② 子育て支援の推進

- ・ 育児休業制度の活用 3名 (内、1名男性)

③ 働き方改革の推進

- ・ 所定労働時間の短縮
- ・ フレックスタイム制度の導入
- ・ 残業の少ない職場環境
- ・ 休暇を取りやすい職場環境
- ・ 在宅勤務制度の導入

8時間から7.5時間へ

月平均残業時間：10.07時間 (前期平均：10.96時間)

平均有給消化率：74.4%

新型コロナウイルス感染症対応として暫定スタートした
在宅勤務を制度化。2020年10月より会社の制度として運用開始。

(G: ガバナンス)

① 株主・投資家との対話

- ・ 機関投資家向け説明会の開催 1回
- ・ 機関投資家との1on1ミーティング 9回

1. 企業概要
2. 2022年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2022年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて

マーケットの状況

第1フェーズ：片方向の情報提供



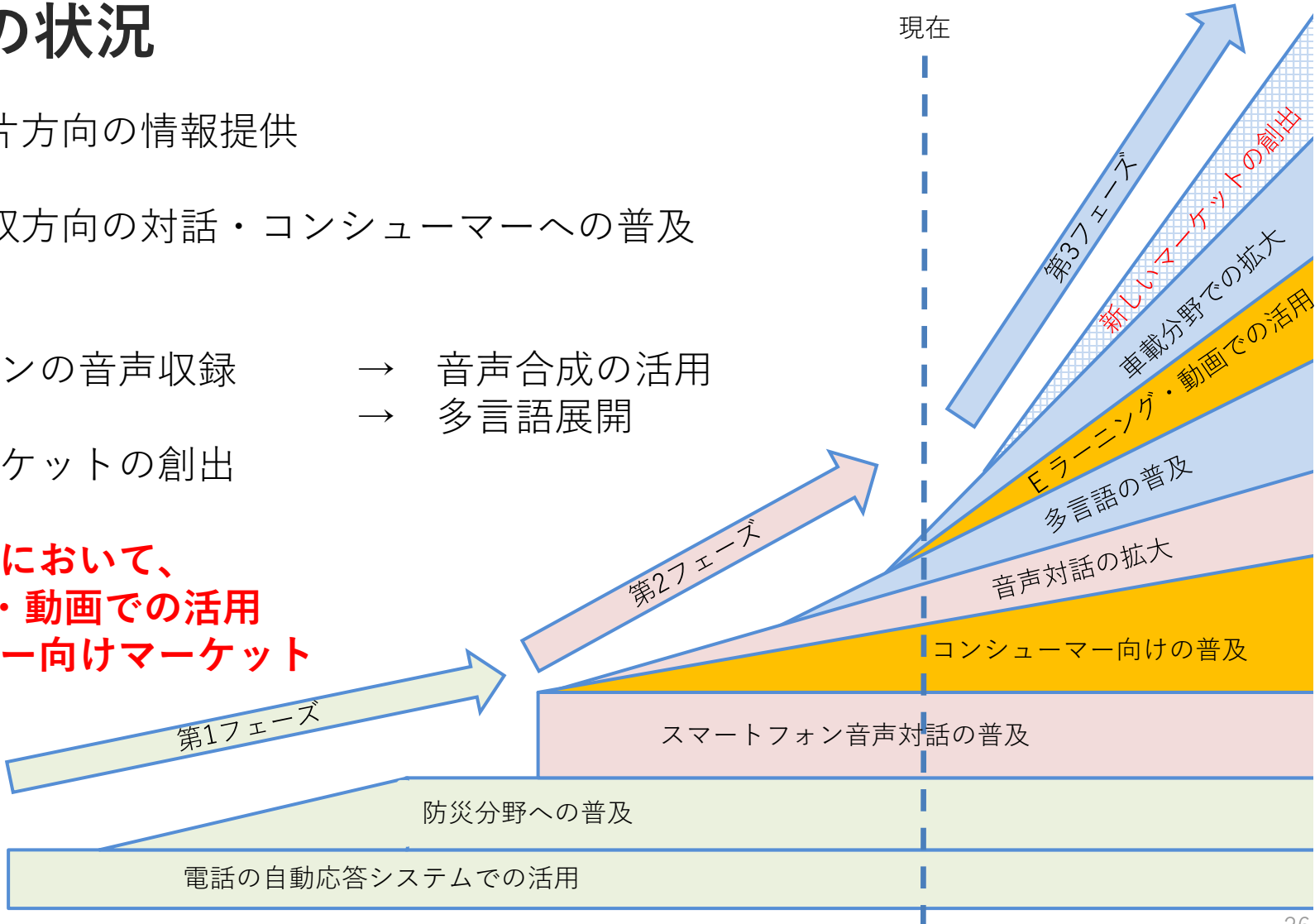
第2フェーズ：双方向の対話・コンシューマーへの普及



第3フェーズ：

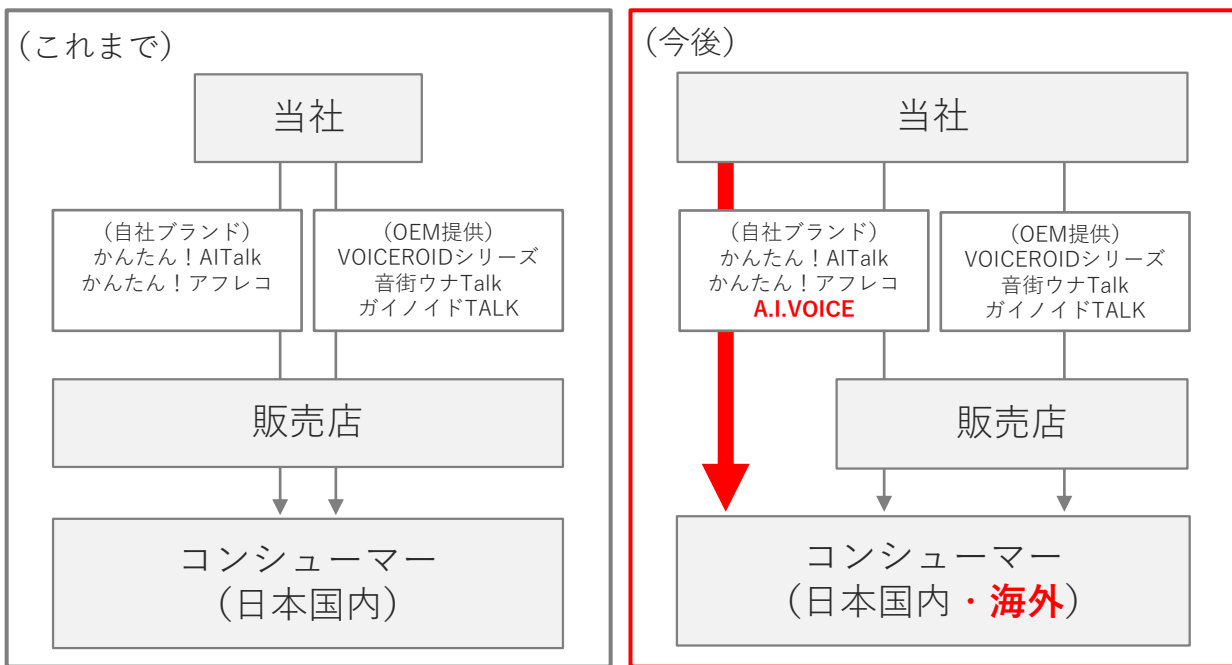
- ・ナレーションの音声収録 → 音声合成の活用
- ・日本語 → 多言語展開
- ・新しいマーケットの創出

**コロナ禍の状況において、
・Eラーニング・動画での活用
・コンシューマー向けマーケット
が拡大。**



2022年3月期の主な取り組み

①オリジナルブランドによる個人利用向け音声読み上げソフト「A.I.VOICE™」の拡大



2020年3月期：売上の11.0%

2021年3月期：売上の14.0%



今期の売上の20%を目指す。

2021年12月販売開始（予定）

- ・英語音声合成パッケージ
「A.I.VOICE Kotonoha Akane & Aoi English」
- ・日本語音声合成パッケージ
「A.I.VOICE 継星あかり」

2022年初旬販売開始（予定）

- ・日本語音声合成パッケージ
「A.I.VOICE 羽ノ華」
「A.I.VOICE Junior タンゲコトエ」
「A.I.VOICE Junior 式狼縁・式大元」

2022年春販売開始（予定）

- ・歌声合成ソフト（日本語）

2022年夏販売開始（予定）

- ・中国語音声合成パッケージ

2022年3月期の主な取り組み

②教育分野への需要拡大

ベネッセコーポレーションへ採用（2021年4月）

「進研ゼミ 中学講座」が展開する、中学1・2年生向けのタブレット学習を中心とした学習教材『デジタルチャレンジ』内の数学・国語・理科・社会の先生の声にCustomVoice・声の職人を利用。

旺文社へ採用（2021年6月）

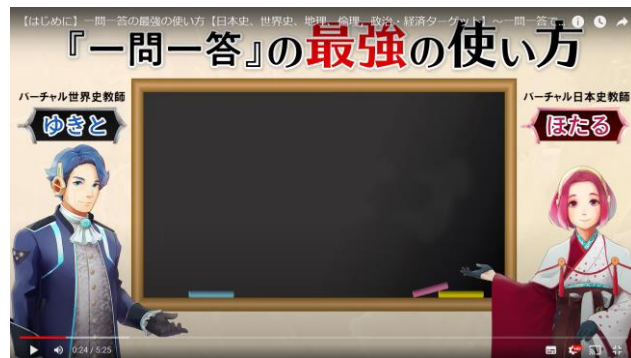
専用YouTubeチャンネル「耳から覚える 日本史・世界史 ターゲットチャンネル」内のバーチャル日本史教師・世界史教師の声に声の職人を利用。

進研ゼミ 中学講座 ハイブリッドスタイル



音声合成AITalk® を採用した「デジタルチャレンジ」の先生

©ベネッセコーポレーション



©旺文社 耳から覚える 日本史・世界史 ターゲットチャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCibuiNpjKZiy-3C8Clow1Zg>

2022年3月期の主な取り組み

③ キャロウェイアパレル「CALL NAVI」／石川遼選手の音声へ採用（2021年4月）

Web上のシェアラブルコンテンツや、提携ゴルフ場のカートナビ上でプロゴルファー石川遼選手を起用した動画の送付や視聴が可能となるプロモーション施策「CALL NAVI」において、石川遼選手の声を収録し、CustomVoiceによるオリジナル音声合成辞書を作成。

石川遼選手の音声合成による利用者の名前読み上げを実現。（現在は終了）



©キャロウェイアパレル

2022年3月期の主な取り組み

④次々世代エンジンの研究開発

名古屋大学 戸田教授との共同研究（2018年4月～2022年3月（予定））

（共同研究の概要）

- ・ WaveNet（音声波形を生成するためのディープニューラルネットワークの一つ）などの最先端の深層学習ベースの音声合成技術の研究開発を実施中。
- ・ 研究成果については、特許出願を行った後、順次学会発表、社外発表等を行い、**来春の製品化に向けて準備中。**

名古屋工業大学 徳田・南角・橋本研究室との共同研究（2021年4月～2022年3月（予定））

（共同研究の概要）

- ・ スタイルタグによる制御可能な非タスク指向型対話音声合成に関する研究を実施中。
- ・ 目的に応じた制御性を考慮した、より人の発話に近い対話システムを実現するための音声合成の開発を行う。

2022年3月期の主な取り組み

⑤NHK放送技術研究所が研究するスポーツ番組を解説する「音声ガイド」生成技術において、 音声合成による技術協力を実施

(技術協力の概要)

- ・ 試合会場などから送信されるさまざまな競技データから生成した実況テキストを、字幕と合成音声実況に変換し、ライブストリーミング映像とタイミングを合わせてインターネット配信をおこなう『ロボット実況』へAITalkを活用。

引用：NHK技研R&D 2017年 8月号 技研公開2017 研究発表4 『スポーツ番組を解説する「音声ガイド」生成技術』

<https://www.nhk.or.jp/str/publica/rd/164/8.html>

将来見通しに関する注意事項

本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来見通しと異なる場合があります。